

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんひろしまこうきょうがくきょうかい		団体ウェブサイトURL
	公益社団法人広島交響楽協会		http://hirokyo.or.jp/
代表者職・氏名	理事長 妹尾雅雄		
制作団体所在地	〒 730-0842	最寄り駅(バス停)	舟入本町 (広島電鉄)
	広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル		
電話番号	082-532-3080		
ふりがな 公演団体名	ひろしまこうきょうがくだん		団体ウェブサイトURL
	広島交響楽団		http://hirokyo.or.jp/
代表者職・氏名	音楽監督 クリスティアン・アルミンク		
公演団体所在地	〒 730-0842	最寄り駅(バス停)	舟入本町 (広島電鉄)
	広島市中区舟入中町9-12 舟入信愛ビル		
制作団体 設立年月	1963年 10月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	会長:池田晃治、理事長:妹尾雅雄、専務理事:花谷尚二、常務理事:畑中修 ほか理事:31名 事務局13名		音楽監督1名、コンサートマスター4名、公募のオーディションにより採用の楽団員71名(現在、空席12名) 計76名
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	宇津志忠章(事業課長)
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	畑中修(常務理事)
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	utsushi@hirokyo.or.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>昭和38年10月、「広島市民交響楽団」として発足。昭和44年に「広島交響楽団」に改称。昭和47年9月には運営組織が社団法人「広島交響楽協会」の認可を受けプロの楽団として改組。広島交響楽協会は、平成23年4月に公益社団法人に移行。</p> <p>楽団創立指揮者の井上一清の後を受け、渡邊暁雄、高関健、田中良和、秋山和慶、下野竜也が歴代の音楽監督職を務め、令和6年度からは、楽団史上初となる外国人指揮者、クリスティアン・アルミンクが音楽監督に就任。より幅広い活動の展開と発信力の獲得を目指し、世界的な指揮者、ソリストとの共演にも取り組んでいる。平成27年8月の終戦・被爆70年の事業として行った「平和の夕べ」コンサートを東京のサントリーホールでも開催。ソリストにピアニストのマルタ・アルゲリッチを迎えた同公演は、天皇・皇后両陛下ご臨席も賜り大きな注目を集めるものとなった。</p> <p>国際平和文化都市である広島を拠点とするオーケストラとして文化による平和発信も楽団のテーマとしており、1991年の「広響国連平和コンサート」としてのウィーン、ブラハでの初の海外公演以降、1997年フランス(ルーアン、ル・アーブル)「ノルマンディーの10月音楽祭」、2003年ロシア・サンクトペテルブルク「サンクトベルブルク建都300周年記念事業」、2005年韓国(ソウル、プサン、テグ)「日韓友情年2005」、2019年ポーランド(ワルシャワ)「ショパンと彼のヨーロッパ音楽祭」などで世界各地でも演奏し、平和と希望のメッセージを発信している。</p> <p>これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」「第51回ENEOS音楽賞洋楽部門奨励賞」を受賞。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>小学校から高校生を対象とした「オーケストラ音楽鑑賞教室」を年間20～30公演、学校の体育館や公共ホールで実施しています。また、子供たちや地域の方々に質の高い実演芸術を身近にお届けする地域貢献事業「音楽の芽プロジェクト」の一環として、青少年とその家族を対象とし未就学児の入場も可能な「マイタウンオーケストラ広響」の開催や、広島市などと連携した児童・生徒を対象としたワークショップやアウトリーチ活動を実施しています。</p> <p>《令和4年度実績》 オーケストラ音楽鑑賞教室 17回 計5,746名が鑑賞 巡回演奏会「マイタウンオーケストラ広響」公演 計883名が鑑賞</p> <p>《令和5年度実績》 オーケストラ音楽鑑賞教室 26回公演で 計11,188名の児童・生徒が鑑賞 「マイタウンオーケストラ広響」公演 計1,377名が鑑賞</p>			
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>当団主催の音楽鑑賞教室で特別支援学校での公演実績があります。</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 広島交響楽団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	オーケストラで巡るファンタジー・ワールド
-----	----------------------

企画のねらい	情景や場面が想像しやすい物語や作曲の背景がある楽曲を鑑賞することをきっかけにして、音楽や楽器の音色が人の心与える不思議な力とその魅力の発見につながるようし、児童・生徒の好奇心と想像力を刺激することをねらいとしています。また実際に楽器に触れて頂くことで、より能動的な体験事業とさせていただきます。
--------	---

演目概要・演目選択理由	①ジョン・ウィリアムズ：「スターウォーズ」～メイン・タイトル ②エドヴァルド・グリーグ：「ホルベアの時代」～リゴードン ③《楽器体験&楽器を探そうコーナー》 ④エドヴァルド・グリーグ：「ペール・ギュント」～山の魔王の宮殿にて ⑤モーリス・ラヴェル：「マ・メール・ロワ」～眠りの森の美女のパヴァーヌ、親指小僧、美女と野獣の対話 ⑥《あなたも名指揮者！指揮者体験コーナー》 ⑦イゴリー・ストラヴィンスキー：「火の鳥」～カスチエイ王の魔の踊り、子守唄、終曲 ⑧各校の校歌演奏
-------------	---

児童・生徒の参加又は体験の形態	③の楽器体験では、体験用の弦楽器を用意し、児童・生徒に実際に音を出す体験機会を提供し、より身近に楽器と演奏者に接していただきます。 ⑥の指揮者体験では、児童・生徒の代表に指揮者の役割を体験いただきます。 ⑦では、物語の場面についてのナレーションを児童・生徒が担当することが可能です。 ⑧の校歌では、児童・生徒に歌唱で参加いただけます。器楽演奏の活動がある学校の場合は、演奏での参加も可能です。
-----------------	---

児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	全校児童・生徒(校歌歌唱)
		鑑賞人数目安	30～500人(会場案件で収容可能な人数)

本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>オーケストラとの遭遇～宇宙の彼方へ Here We Go !</p> <p>①ジョン・ウィリアムズ：「スターウォーズ」～メイン・タイトル [6分] 最初に20世紀の映画音楽の中でも誰もが聴いたことがある人気の作品でオーケストラならではの迫力を伝え、興味を喚起します。</p> <p>ホルベア？リゴードン？なんだろう！？</p> <p>②エドヴァルド・グリーグ：「ホルベアの時代」～リゴードン [4分] 弦楽のための作品で、オーケストラの主体となる弦楽器への関心を高め、次の楽器体験へつなげます。</p> <p>③オーケストラ、楽器の森の住人たち《楽器体験&楽器を探そうコーナー》 [20分] 体験用の弦楽器を用意し、児童・生徒に実際に触れて音を出していただきます。管打楽器については、特別教室などの別室に分かれて配置し、より近くで楽器を見たり、音を聴いていただきます。 ※会場案件、学校のご意向などで楽器体験の実施が難しい場合は、鑑賞曲の追加をご相談します。(曲目候補：ベドルジハ・スメタナ「プルトバ(モルダウ)」) ＝休憩＝ [10分]</p> <p>どうしよう…、山の中で魔王に出会ったら…</p> <p>④エドヴァルド・グリーグ：「ペール・ギュント」～山の魔王の宮殿にて [3分] 後半の標題音楽鑑賞の導入として演奏し、物語の情景も伝えます。</p> <p>おとぎ話の音楽、どんなお話かな？</p> <p>⑤モーリス・ラヴェル：「マ・メール・ロワ」～眠りの森の美女のパヴァーヌ、親指小僧、美女と野獣の対話 [10分] マザーグース(マ・メール・ロワ)の童話を題材にした作品から演奏し、どの曲がなんのお話をイメージした音楽なのかを想像しながら鑑賞いただきます。</p> <p>⑥あなたも名指揮者！指揮者体験コーナー [6分] 児童・生徒の代表に指揮の体験をしてもらい、オーケストラにおける指揮者の役割りを伝えます。 (体験曲目 ジャック・オッフエンバック：「天国と地獄」序曲～カンカン より1分程度抜粋)</p> <p>王子様の魔法と冒険の旅</p> <p>⑦イゴリー・ストラヴィンスキー：「火の鳥」～カスチエイ王の魔の踊り、子守唄、終曲 [12分] 幻想的な物語を題材にした組曲で、物語も想像しながら、オーケストラならではの表現を鑑賞いただきます。児童・生徒に各曲の場面についてナレーションを担当するという形で参加いただくことも可能です。</p> <p>みんなの校歌をオーケストラと歌おう</p> <p>⑧校歌 [3分] 各校の校歌をオーケストラに編曲して演奏し、児童・生徒の歌唱と共演させていただきます。吹奏楽・器楽合奏などの演奏参加も可能です。</p>
	公演時間 90 分

出演者	指揮とお話：鈴木織衛、喜古恵理香ほか（公演日程により調整） 管弦楽：広島交響楽団 1stヴァイオリン：12、2ndヴァイオリン：10、ヴィオラ：8、チェロ：6、コントラバス：5 フルート：3、オーボエ：2、クラリネット：3、ファゴット：2、ホルン：4、トランペット：3、トロンボーン：3、テューバ：1 ティンパニー&パーカッション：5、ハープ：1、ピアノ：1														
演目の芸術上の中核となる者（メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等）の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	（指揮者）鈴木織衛 … 東京藝術大学指揮科、同大学院卒。ドイツ室内管弦楽団定期演奏会でコンサート指揮者としてデビュー。2010年より13年間、オーケストラ・アンサンブル金沢専任指揮者を務めた。クラシック以外のアーティストにも信頼が厚く、森山良子、岩崎宏美、渡辺美里等のコンサートも指揮している。東京藝術大学指揮科講師。 （指揮者）喜古恵理香 … 東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻（指揮）及び同大学大学院指揮研究領域に学ぶ。これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、下野竜也、田代俊文、三河正典、ピアノを野中正、野田清隆、音楽理論を伊左治直の各氏に師事。2022年、次世代指揮者コンクール本選第3位およびオーケストラ賞、聴衆賞を受賞														
本公演従事予定者数（1公演あたり） ※ドライバー等訪問する業者人数含む	<table border="1"> <tr> <td>出演者：</td> <td>70</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ：</td> <td>6</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>合計：</td> <td>76</td> <td>名</td> </tr> </table>			出演者：	70	名	スタッフ：	6	名	合計：	76	名	運搬	積載量： 4 t 車長： 9.69 m 台数： 2 台	
出演者：	70	名													
スタッフ：	6	名													
合計：	76	名													
本公演会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度									
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出								
	10:00	10:00～12:00		13:30～15:00	10分	15:00～16:00	16:00								
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。														
本公演実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。（大幅な変更は認められません）	6月		7月		8月		9月								
	7日														
	10月		11月		12月		1月								
	5日				4日		4日								
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		20日							

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)



【公演の様子】

- 舞台は使用せず、舞台下のフロアで演奏いたします。
- オーケストラに必要な広さは、間口22m × 奥行10mです。
- 児童・生徒はオーケストラから2m程度離れたところからお座りください。

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 広島交響楽団 】

ワークショップのねらい	<p>ワークショップでは、プロの演奏者による楽器の実演を交えて、オーケストラや本公演で取り上げる作品の解説をわかりやすく行うことにより、楽器やオーケストラに興味を持っていただき、本公演の内容への関心を高めることをねらいとしています。</p> <p>また、楽器に触れてもらうなど、児童・生徒がより近い距離で演奏者と接することで、演奏者との交流を深めます。演奏者にも親しみを感じていただく中で、より一層、オーケストラと本公演への期待を持っていただける内容とさせていただきます。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	40人程度を想定していますが学校任意で調整可能
ワークショップ実施形態及び内容	<p>オーケストラの演奏者数名を派遣し、オーケストラの編成やオーケストラで使われている楽器について、実演を交えてお話させていただくことで演奏者やオーケストラに関心を持っていただきます。また、本公演で演奏する演目についても紹介させていただき、作品の魅力や鑑賞の手がかりを感じて頂きます。リズム遊びや実際に触れて頂ける楽器も用意するなどして、体験型の内容も企画いたします。</p> <p>本公演の校歌で、器楽演奏による児童・生徒の演奏参加も希望される場合は、演奏指導などにも対応させていただきます。</p> <p>【進行事例】 ※授業区分2コマで実施 ※派遣する演奏者の組み合わせによって進行内容が変わる場合がございます。</p> <p><前半>オーケストラってなんだろう？ ①導入の演奏とオーケストラの紹介 [10分] ②楽器とその役割についてのお話① [35分] 演奏者による実演をまじえて、オーケストラで使われる楽器を 弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器に分けて、それぞれの役割を紹介します。体験用楽器に実際に触れていただくこともできます。</p> <p>～ 休憩～</p> <p><後半>コンサートで聴くのはどんな曲？ ③楽器とその役割についてのお話② [15分] オーケストラのコンサートホールでの演奏なども動画で見ていただき、活動の様子も紹介します。 ④本公演で演奏する作品の紹介 [20分] 本公演で演奏する演目について、抜粋演奏などを交えて紹介するほか、作品で使われるリズムなどを素材にしたリズム遊びなどで興味を持って本公演を迎えられるようにします。 ⑤質問コーナー・クロージング [10分] ワークショップのまとめと、児童・生徒からの質問に答えます。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ワークショップの様子</p>		

別添	なし
本事業への応募理由 【公演団体名 広島交響楽団】	
本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 【楽団としての理念】 文化芸術に触れる中で培われる発想力やコミュニケーション能力は、文化的な人間の育成はもちろん、幅広くより良く豊かで高度な社会の形成のためにも万人に必要とされるものです。特に未来の文化や社会の担い手となる子供たちにとって、文化芸術に直接触れる機会は発育過程において非常に重要であると考えています。 当団は、この理念の元、活動の黎明期から児童・生徒を対象とした音楽鑑賞教室や、青少年向けのコンサート事業に取り組んでいます。文化芸術振興基本法の基本理念にある通り、経済や地域の格差なく文化芸術を鑑賞する機会を提供できることが理想であり、当団も広く活動を展開したいと強く考えておりますが、昨今の少子化や学校組織の予算の逼迫、芸術団体単独での運営上の予算等の制約などで、小規模校や遠隔地域での実演活動の提供は困難であることが多いのが実情です。 そうした状況下において、「将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的」として実施される本事業は、実施先の規模や状況に影響されずに文化芸術の鑑賞・体験機会を均等に提供するものであり、芸術団体としても非常に意義のあるものであると捉えて申請させていただいています。 未来の担い手となる子供たちの周りに多様な文化が溢れているということは、私たち芸術団体が切に望む社会の有り様であり、微力ながらも本事業の主旨に貢献できればと考えています。 【理念の実現のための方策】 音楽の実演分野の中でも多数の演奏者と楽器群を有するオーケストラという分野は、他の演奏形態以上に表現力の可能性や聴覚上の圧倒的な体験をもたらす可能性があるものですので、より一層の効果が期待できるものと考えています。これまでの活動の実績からそうしたオーケストラの魅力が体感していただける演目を選択して提供させていただきます。 また単なる鑑賞にとどまらず、実際に楽器に触れて頂くなどの参加体験の機会も通じて、本分野への興味を一層喚起していただくことで、児童・生徒にとって、より能動的な経験となるように取り組みます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 【事業を効果的に実施するために】 音楽の魅力が十分に伝わる選曲を行い、フル編成のオーケストラで質の高い演奏を届けることで、子供たちの感性を刺激し、音楽やオーケストラに対する関心を持ってもらうように企画しています。 また、児童・生徒の参加体験の内容については、親しみやすさと分かりやすさに重点をおき、より積極的に音楽に係ることの楽しさを感じて頂くことで、演奏鑑賞の体験を補完します。 【事業を円滑に実施するために】 学校と密なコミュニケーションを取るよう取り組んでまいります。実施校決定後には、事前に学校側の準備内容などの資料をお送りし、電話・メールでも説明差し上げた上で、ワークショップ訪問の際には本公演についての打合せを直接行わせていただきます。特に、申請時から実施校の学校長や担当教諭が代わられた場合には、改めて事業趣旨についてご案内差し上げ、十分にご理解いただくよう努めます。</p>